



ルート リストの設定

ルート リストは、優先順位が指定されている 1 組のルート グループに関連付けられます。また、ルート リストは、1 つ以上のルート パターンに関連付けられ、そのルート グループがアクセスされる順位を決定します。この順位は、発信コールに使用可能なデバイスを検索するときの進行を制御します。

ルート リストには、ルート グループだけを入れることができます。

各ルート リストには、少なくとも 1 つのルート グループを入れる必要があります。各ルート グループには、少なくとも 1 つのデバイス、たとえば、使用可能なゲートウェイが含まれます。Cisco CallManager は、デバイス タイプに基づいて、各ルート グループ内で、一部またはすべてのポートをリソースとして選択できます。一部のデバイス（たとえば、デジタルアクセス）では、すべてのポートの選択しかできません。

ルート グループは、任意の数のルート リストに追加できます。

ルート リストの追加または削除、リスト内のルート グループの追加、削除、または順序の変更をするには、次のトピックを参照してください。

- [ルート リストの検索 \(P.34-2\)](#)
- [ルート リストの追加 \(P.34-4\)](#)
- [ルート リストへのルート グループの追加 \(P.34-6\)](#)
- [ルート リストからのルート グループの削除 \(P.34-8\)](#)
- [ルート リスト内のルート グループの順位の変更 \(P.34-9\)](#)
- [ルート リストの削除 \(P.34-10\)](#)

ルートリストの検索

ネットワーク内にはいくつかのルートリストが存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の基準を指定して、特定のリストを見つけることができます。ルートリストを見つけるには、次の手順を使用します。



(注)

Cisco CallManager Administration では、ブラウザセッションでの作業中は、ルートリストの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ルートリストの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 Call Routing > Route/Hunt > Route List の順に選択します。

Find and List Route Lists ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウンリストボックスを使用して、ルートリストを検索します。

ステップ 2 最初の Find Route Lists where ドロップダウンリストボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- Route List Name
- Description
- Pattern/Pilot Number



(注)

このドロップダウンリストボックスで選択する基準によって、検索時に生成されるルートリストの一覧のソート方法が決まります。たとえば、Description を選択すると、Description 列が結果リストの左側の列に表示されます。

2番目の Find Route Lists where ドロップダウンリストボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- ends with (後方一致)
- is exactly (完全一致)

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



(注)

データベースに登録されているルートリストをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出されたルートリストの一覧が、次の項目別に表示されます。

- Route list name
- Description
- Status (状況)
- Enabled

**ヒント**

検索結果内でルートリストを検索するには、**Search Within Results** チェックボックスをオンにし、この手順の説明に従って検索条件を入力します。

**(注)**

該当するルートリストの横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックすると、**Find and List Route Lists** ウィンドウから複数のルートリストを削除できます。**Matching Records** タイトルバーにあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のルートリストをすべて削除できます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致するルートリストをクリックします。

選択したルートリストがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.34-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ルートリストの追加

ルートリストを追加する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Call Routing > Route/Hunt > Route List の順に選択します。

ステップ 2 Add New をクリックします。

ステップ 3 Route List Name フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各ルートリスト名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。



ワンポイント・アドバイス

ルートリストには、内容を簡潔に表す名前を使用してください。通常、CompanynameLocationCalltype の形式が、内容を簡潔に表し、ルートリストをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、CiscoDallasMetro は、Dallas の Cisco オフィスからの、LATA (Local Access Transport Area) 間の無料コール用のルートリストを特定します。

Cisco CallManager は、自動的に Description フィールドに説明を挿入します。ただし、このフィールドの編集は可能です。

ステップ 4 ドロップダウン リストボックスから、Cisco CallManager グループを選択します。



(注) ルートリストは、グループで最初の CallManager に登録されます。これは、そのグループのプライマリ Cisco CallManager です。



(注) Cisco CallManager が 1 つしか設定されていない Cisco CallManager グループを選択すると、次の警告が表示されます。

WARNING!The selected Cisco CallManager Group has only one Cisco CallManager configured.For the control process to have redundancy protection, please select a Cisco CallManager Group with more than one Cisco CallManager.

ステップ 5 Save をクリックして、このルートリストを追加します。



(注) コールを受信させるため、このルートリストにルートグループを少なくとも 1 つ追加する必要があることを示すポップアップメッセージが表示されます。

Route List Configuration ウィンドウに、新しく追加されたルートリストが表示されます。

ステップ 6 新しいルート リストの **Enable this Route List** チェックボックスは、デフォルトでオンになっています。

このルートリストを使用不可にする場合は、このチェックボックスをオフにします。進行中のコールは影響を受けないが、このルートリストが追加のコールを受け付けなくなることを示す、ポップアップ ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 新しいルート リストに少なくとも 1 つのルート グループを追加します。

このリストにルート グループを追加するには、**Add Route Group** をクリックし、[P.34-6](#) の「[ルートリストへのルートグループの追加](#)」の [ステップ 4](#) ～ [ステップ 8](#) を実行します。



(注) 着信側と発信側の変換情報を参照するには、このルートリストに属しているルートグループの名前をクリックします。ルートグループの名前は、**Route List Configuration** ウィンドウの一番下にある **Route List Details** リストボックスに表示されています。この操作によって、選択したルートグループの **Route List Detail Configuration** ウィンドウが表示されます。

追加情報

[P.34-11](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

ルートリストへのルートグループの追加

新規のルートリストまたは既存のルートリストに、ルートグループを追加することができます。ルートグループは、1 つ以上のルートリストに組み込むことができます。既存のルートリストにルートグループを追加する手順は、次のとおりです。



(注)

QSIG プロトコルを使用する MGCP ゲートウェイを含むルートグループ (QSIG ルートグループ) と、H.323 プロトコルを使用するゲートウェイを含むルートグループ (H.323 ルートグループ) を、同じルートリストに追加することはできません。詳細については、『Cisco CallManager システムガイド』の「ルートグループとルートリスト」を参照してください。

始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも 1 つのルートグループを作成し、ルートリストを追加しておく必要があります。

手順

ステップ 1 Call Routing > Route/Hunt > Route List の順に選択します。

ステップ 2 ルートグループを追加する先のルートリストを特定します。P.34-2 の「ルートリストの検索」を参照してください。

ステップ 3 Add Route Group をクリックして、ルートグループを追加します。

Route List Detail Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 Route Group ドロップダウン リスト ボックスから、ルートリストに追加するルートグループを選択します。



(注)

ルートリストに QSIG ルートグループが含まれている場合、H.323 ルートグループはドロップダウン リスト ボックスに表示されません。ルートグループに H.323 ルートグループが含まれている場合、QSIG ルートグループはドロップダウン リスト ボックスに表示されません。

ステップ 5 このルートグループを介してルーティングされるコールについて、発信側の番号を操作する必要がある場合は、該当するフィールドで、発信側変換をセットアップします。



(注)

発信側変換の詳細については、『Cisco CallManager システムガイド』の「発信側および受信側の変換」を参照してください。

ステップ 6 このルートグループを介してルーティングされるコールについて、ダイヤルされる数字を操作する必要がある場合は、該当するフィールドで、着信側変換をセットアップします。



(注) 着信側変換の詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「着信側番号の変換設定値」を参照してください。

ステップ 7 **Save** をクリックして、ルートグループを追加します。

ウィンドウの左側にある **Route List Details** リストに、ルートグループの詳細情報が表示されます。

ステップ 8 このリストにルートグループをさらに追加するには、**Add Route Group** をクリックし、[ステップ 3](#)～[ステップ 7](#)を実行します。

ステップ 9 ルートリストへのルートグループの追加が終了したら、**Save** をクリックします。

ステップ 10 **Reset** をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップ ウィンドウが表示されたら、**OK** をクリックします。

追加情報

[P.34-11](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

ルート リストからのルート グループの削除

新規のルート リストまたは既存のルート リストから、ルート グループを削除することができます。既存のルート リストからルート グループを削除する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** メニューバーから **Call Routing > Route/Hunt > Route List** の順に選択します。
 - ステップ 2** 削除するルート グループが入っているルート リストを特定します。P.34-2 の「[ルート リストの検索](#)」を参照してください。
 - ステップ 3** Selected Groups リストから、ルート グループ名を選択します。



(注) このリストから複数のルート グループを選択するには、**Shift** キーを押し、目的のルート グループをクリックしてください。

- ステップ 4** Selected Groups リスト ボックスの下にある下矢印をクリックして、選択したルート グループを Removed Groups リストに移動します。
- ステップ 5** ルート グループを削除するには、**Save** をクリックします。**OK** をクリックすると、ページがリフレッシュされたときに、そのルート グループがルート リストから削除されています。
- ステップ 6** **Reset** をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップ ウィンドウの **OK** をクリックします。

追加情報

P.34-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ルートリスト内のルートグループの順位の変更

Cisco CallManager は、ルートリストに表示されている順に、ルートグループにアクセスします。ルートグループのアクセス順位を変更する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** Call Routing > Route/Hunt > Route List の順に選択します。
 - ステップ 2** ルートグループの順位を変更するルートリストを特定します。P.34-2 の「ルートリストの検索」を参照してください。
 - ステップ 3** Selected Groups リストから、ルートグループを選択します。
 - ステップ 4** リスト内でルートグループを上下に移動させるには、ルートグループを選択して、リストボックスの右側にある上矢印または下矢印をクリックします。
 - ステップ 5** Save をクリックします。



- (注)** 着信側と発信側の変換情報については、左側にある Route List Details リストのルートグループアイコンまたはルートグループ名をクリックしてください。この操作により、対応するルートグループの Route List Detail Configuration ウィンドウが表示されます。
-

- ステップ 6** Reset をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップウィンドウの OK をクリックします。
-

追加情報

P.34-11 の「関連項目」を参照してください。

ルートリストの削除

Cisco CallManager は、ルートリストをルートパターンに関連付けます。ルートリストがルートパターンに関連付けられている場合、そのリストは削除できません。ルートリストを使用しているルートパターンを検索するには、Route List Configuration ウィンドウの **Dependency Records** リンクをクリックします。Dependency Records がシステムに対して使用可能になっていない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、[P.A-4 の「Dependency Records へのアクセス」](#)を参照してください。



ヒント

ルートグループとルートパターンを削除するには、まずルートパターンを削除し、次にルートリストを削除して、最後にルートグループを削除します。

ルートリストを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Call Routing > Route/Hunt > Route List の順に選択します。

ステップ 2 削除するルートリストを特定します。[P.34-2 の「ルートリストの検索」](#)を参照してください。

ステップ 3 Delete Selected をクリックします。

ルートリストを削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 ルートリストを削除するには、**OK** をクリックします。削除操作を取り消すには、**Cancel** をクリックします。



注意

ルートリストが 1 つ以上のルートパターンに関連付けられている場合、そのリストは削除できません。

追加情報

[P.34-11 の「関連項目」](#)を参照してください。

関連項目

- [ルートリストの検索 \(P.34-2\)](#)
- [ルートリストの追加 \(P.34-4\)](#)
- [ルートリストへのルートグループの追加 \(P.34-6\)](#)
- [ルートリストからのルートグループの削除 \(P.34-8\)](#)
- [ルートリスト内のルートグループの順位の変更 \(P.34-9\)](#)
- [ルートリストの削除 \(P.34-10\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ルートプランの概要」
- 『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンスとルートリストの連動について」

